

令和 2 年

交通事故白書

黒部市交通安全協会
黒部市安全運転管理者部会
黒部市交通対策協議会
黒部警察署 監修



アクア安全安心PR隊の発足

“広げよう交通安全の輪”

～ゆずりあう 心でひろがる 無事故の輪～

(富山県交通安全スローガン)

昨年の事故概況

令和2年中の交通事故による全国の死者数は2,839人で、前年を376人下回り初めて3,000人という数字を切るとともに、昭和23年の交通統計開始以来最も少ない数となりました。

また、交通事故の発生件数や負傷者数のいずれも減少しました。

富山県内における交通事故発生状況は、発生件数及び負傷者数は20年連続で減少し、死者数についても前年の34人から8人減少の26人と、戦後最小となりました。

しかしながら、死者に占める高齢者の割合が、8割を超え依然として高い水準で推移しており高齢者を重点とした交通事故防止対策が課題となっています。

黒部市内では、人身事故の発生件数、負傷者数は大きく減少しましたが、交通死亡事故が2件発生して、2人の尊い命が犠牲となる結果となりました。

本年の交通事故防止対策

交通事故は、市民の誰もが当事者となるおそれのある身近な問題であり、安全で快適な交通社会を実現するためには、市民総ぐるみによる「規範意識の向上」「子供と高齢者の交通事故防止」「飲酒・暴走運転の追放」「全席シートベルト着用の徹底」などを重点に、取り組む必要があります。

交通事故概要

()内は高齢死者数で内数

区分	年別	令和2年	平成31年・令和元年	増減数
全国	件数	309,178	381,237	- 72,059
	死者	2,839(1,596)	3,215(1,782)	-376(-186)
	傷者	369,476	461,775	- 92,299
富山県	件数	1,992	2,353	- 361
	死者	26(22)	34(24)	- 8(-2)
	傷者	2,309	2,696	- 387
黒部市	件数	37	63	- 26
	死者	2(2)	1(1)	1(1)
	傷者	41	67	- 26

(1) 全国

◆死者数は、前年より376人減少し、昭和23年の統計開始以来最も少ない数となりました。

(2) 富山県

◆死者数は26人で、前年より8人減少して戦後最少となりましたが、65歳以上の高齢死者数が全体の8割を占めています。

(3) 黒部市

◆交通死亡事故が2件発生しました。人身事故の発生件数、負傷者数は前年に比べ大きく減少しました。

交通事故年別推移

(過去10年間)

富山県	件数	5,174	4,973	4,649	4,379	3,945	3,466	3,238	2,839	2,353	1,992
	死者	50	47	53	44	70	60	37	54	34	26
	傷者	5,872	5,667	5,338	5,068	4,570	4,003	3,769	3,300	2,696	2,309
区分	年次	23年	24年	25年	26年	27年	28年	29年	30年	平成31年・令和元年	令和2年
黒部署管内	件数	145	152	138	153	148	102	92	85	63	37
	死者	2	0	2	0	4	2	4	2	1	2
	傷者	171	172	154	186	170	114	107	102	67	41
物損事故	件数	992	1,117	1,097	1,158	1,048	934	968	1,024	915	766

地区別発生状況

()内は死亡事故で内数

区分	令和2年	平成31年・令和元年	増減数
三日市	6	19	-13
生地	2	3	-1
石田	3	1	2
田家	5	8	-3
村椿	1	2	-1
大布施(中央)	7	8	-1
前沢	2	5	-3
荻生	6	10	-4
若栗	0	4	-4
東布施	0	0	0
浦山	3(1)	2	1
下立	1	0	1
愛本	1(1)	1(1)	0
内山	0	0	0
音沢	0	0	0
宇奈月	0	0	0
合計	37(2)	63(1)	-26(1)

◆三日市地区で大幅に減少した。

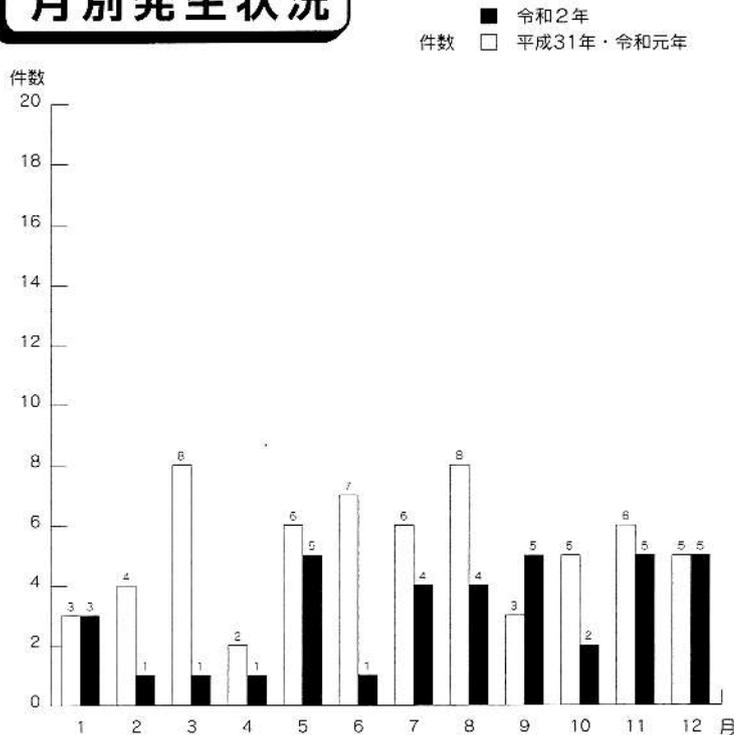
◆若栗・東布施・内山・音沢・宇奈月地区での発生がなかった。



令和2年秋の全国交通安全運動黒部市出発式

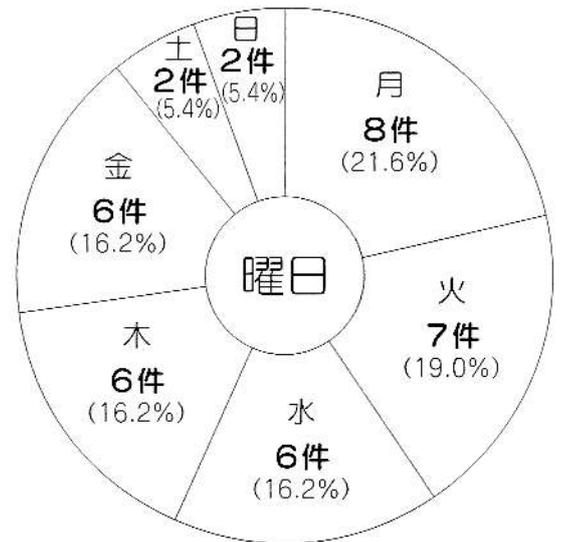


月別発生状況



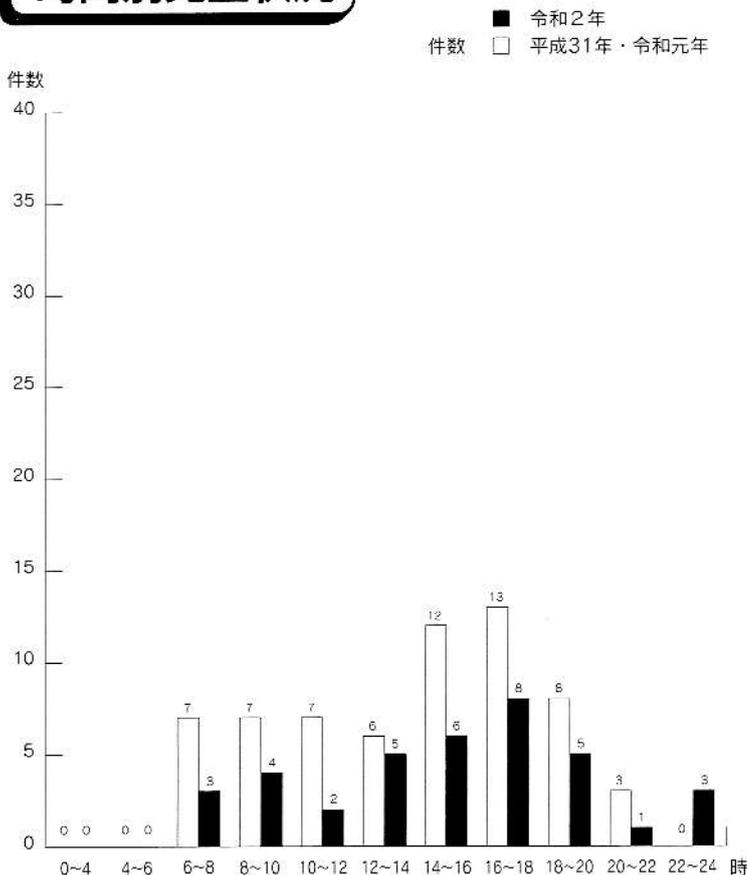
◆3月と6月の発生が大きく減少した。

曜日別発生状況



◆月曜日から金曜日の発生が多く、土・日曜日が少ない。

時間別発生状況



◆14~18時の時間帯の発生が多い。

類型別発生状況

類型	令和2年	平成31年・令和元年	増減	
合計	37	63	-26	
人対車	計	4	4	0
	通行中	0	1	-1
	横断中	2	3	-1
	その他	2	0	2
自転車対車両	計	5	5	0
	出会い頭	4	3	1
	その他	1	2	-1
車両対車両	計	26	52	-26
	正面衝突	0	2	-2
	追突	9	28	-19
	出会い頭	10	17	-7
	右左折時	4	1	3
	その他	3	4	-1
車両単独	計	2	2	0
	工作物	1	1	0
	路外逸脱	1	1	0
	転倒	0	0	0
	その他	0	0	0
その他(踏切等)	0	0	0	

◆車両相互の追突・出会い頭事故は大きく減少したものの、依然として多い。

路線別発生状況

()内は死亡事故で内数

区 分	令和2年	平成31年・令和元年	増減数	
国道 8 号	3	4	-1	
県道	魚津・入善	3	15	-12
	魚津・生地・入善	1	1	0
	黒部・宇奈月	0	5	-5
	朝日・宇奈月	0	0	0
	若栗・生地	2	2	0
	沓掛・魚津	3	1	2
	六天・天神新	1	1	0
	下垣内・前沢	0	0	0
福平・石田	1	1	0	
その他県道	0	6	-6	
スーパー農道	3(1)	0	3	
市町村道	16(1)	25(1)	-9	
その他	4	2	2	
合 計	37(2)	63(1)	-26	

◆県道魚津・入善線での事故が大きく減少した。



4月

市内小学校新生入生へ交通安全対策用品の贈呈

道路形状別発生状況

区 分	令和2年	平成31年・令和元年	増減数
交 差 点	19	24	-5
単 路	13	36	-23
カ ー プ	1	1	0
そ の 他	4	2	2
合 計	37	63	-26

◆単路での事故が大きく減少した。

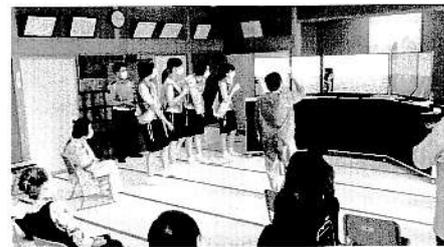


7月 中学校で通学自転車の一斉点検

原因別発生状況

区 分	令和2年	平成31年・令和元年	増減数
信号無視	2	2	0
速 度	2	0	2
追越違反	0	0	0
交差点安全不確認	9	3	6
歩行者妨害	0	1	-1
一時不停止	2	16	-14
飲 酒	0	0	0
ブレーキ・ハンドル操作等	1	3	-2
脇見・漫然運転等	20	34	-14
そ の 他	1	4	-3
合 計	37	63	-26

◆交差点安全不確認の事故が増加した。
脇見・漫然運転等の事故は依然として多く発生している。



「危険を予測して横断体験」教室の実施

◇ 2021年「交通安全年間スローガン」 ◇

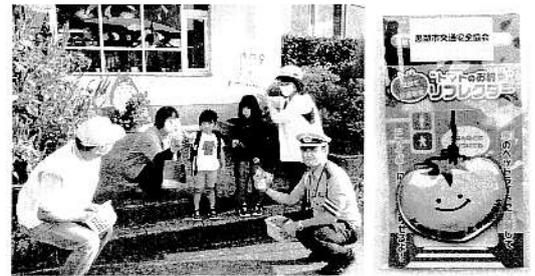
- ★運転者（同乗者を含む）へ呼びかけるもの
ゆとりある 心と車間の ディスタンス
- ★歩行者・自転車利用者へ呼びかけるもの
ママなんで？ 赤は止まると 習ったよ
- ★中学生以下へ交通安全を呼びかけるもの（こども部門）
自転車に 乗るならきみも 運転手
- ★富山県スローガン
ゆずりあう 心でひろがる 無事故の輪



年代・性別発生状況

区 分		令和2年	平成31年・令和元年	増 減 数
～16歳	男	0	0	0
	女	0	0	0
16～24歳	男	4	3	1
	女	0	4	-4
その他20代	男	0	4	-4
	女	2	1	1
30代	男	2	4	-2
	女	3	0	3
40代	男	0	4	-4
	女	3	4	-1
50代	男	2	10	-8
	女	1	3	-2
60～64歳	男	1	1	0
	女	3	2	1
65～69歳	男	1	1	0
	女	0	2	-2
70代	男	6	9	-3
	女	7	6	1
80代	男	1	2	-1
	女	1	3	-2
合 計	男	17	38	-21
	女	20	25	-5
その他	男	0	0	0
	女	0	0	0
総 合 計		37	63	-26

◆第一当事者70歳代の運転者の事故が多い。
50歳代男性運転者の事故が減少した。



9月
保育所で「🍅🍅のやくそくキャンペーン」を実施



9月 桜井高校放送部が自主制作した
企業向け交通安全動画贈呈式



「メルシー」での交通安全呼び掛けキャンペーン



「かたかご会」等による飲酒運転根絶キャンペーン

交通事故のない明るい社会づくりのためには、
道路を利用する一人ひとりが交通ルールを守り、マナーを向上させる必要があります。

黒部市交通安全協会・黒部市安全運転管理者部会では
市民の交通安全意識を高め交通事故防止のために

- ★交通安全教育の積極的推進
- ★飲酒運転根絶の呼びかけ
- ★高齢者の交通事故防止
- ★シートベルトの全席着用と
チャイルドシート着用の徹底

等を関係機関団体と連携して推進して参ります。
何卒、皆様方のご理解とご協力をお願いします。
また、皆様方のご意見を右記事務局までお寄せ下さい。

黒部市三日市1524番地1
黒部警察署内
黒部市交通安全協会
(☎52-1056)

※この交通事故白書は、皆様方の賛助金・協力金で作成されています。

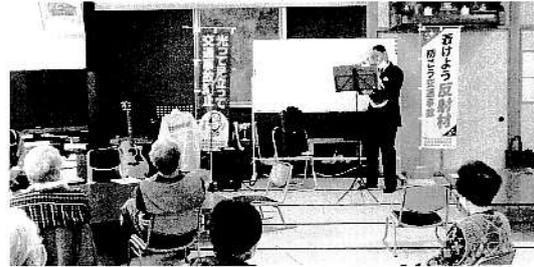
高齢者交通事故発生状況

概要

(年齢65歳以上の交通事故)

◆第一当事者となる事故が減少し、第二当事者となる事故が増加した。

区分	令和2年	平成31年・令和元年	増減数
第一当事者	16	23	- 7
第二当事者	11	9	2
合計	27	32	- 5



各地区で「交通安全いきいき教室」の実施

原因別発生状況

◆交差点安全不確認と脇見・漫然運転等の事故が増加した。

区分	令和2年	平成31年・令和元年	増減数
信号無視	0	1	- 1
右左折違反	0	0	0
優先通行妨害	0	0	0
交差点安全不確認	3	1	2
一時不停止	1	8	- 7
飲酒・過労等	0	0	0
脇見・漫然運転等	11	8	3
その他	1	5	- 4
合計	16	23	- 7



各地区で「交通安全いきいき教室」の実施

第二当事者状態別

◆自動車運転中の事故が多い。

区分	令和2年	平成31年・令和元年	増減数
歩行者	1	1	0
自転車	2	1	1
二輪車	0	0	0
自動車	8	7	1
その他	0	0	0



東布施保育所において交通安全クリスマスツリーを製作



第二当事者原因別

区分	交差点安全進行義務	安全運転義務違反					左側通行	直前横断	飛び出し	違反し
		前方不注視	安全不確認	安全速度	予測不適	違				
歩行者					0	0	0	0	1	
自転車	0	0	1	0	0				1	
自動車・二輪	4	0	0	0	0				4	
その他	0	0	0	0	0				0	



1月
交通安全かるた大会の実施